

ドクター通信

19

虚血性心疾患

市立総合病院第一内科副部長 神 裕

心臓は、私たちが生き続けている間、ひとときも休まず身体に血液を送り続けてくれます。この大切な心臓の働きを損なう病気のひとつに虚血性心疾患があります。現代病の象徴とも言えるこの疾患は、いったいどんな病気なのでしょう。

動脈硬化と

虚血性心疾患

心臓は筋肉でできていて、酸素と栄養分が補給されないと元気に働くことができません。特にたくさんの酸素を必要としますから、専用の血管が心臓を包み込むように走っています。この大切な血管は、王冠のように心臓を囲んでいるので、冠動脈と呼ばれています。

ここで血管を水道管に例えてみましょう。水道管は、流れる水の速度、性質、管の状態によって水あかやさびが付着して細くなり、水の出が悪くなります。これと同じように、ドロドロしたコレステロールが血管の壁に付着した状態を動脈硬化と言

ます。この動脈硬化が冠動脈に起きたらどうでしょう。心臓は、血液供給が足りなくなつて悲鳴をあげてしまいます。これが虚血性心疾患なのです。

狭心症と心筋梗塞

虚血性心疾患には、どんな病気や症状があるのでしょうか。代表されるものは狭心症と心筋梗塞です。狭心症は、冠動脈からの血液供給が不足したときの心臓からのSOS信号で、胸が

せはめられるような痛みが発生します。また心筋梗塞は、冠動脈がついに詰まってしまい、心臓の筋肉の一部が酸素不足で死んでしまう状態のことを言い、このときの痛みは、狭心症より更に強く、冷汗をかいて倒れてしまうほどです。

どちらも油断ならない病気で、特に心筋梗塞は致命率も高く、集中的な治療が必要となります。

無痛性虚血性心疾患

虚血性心疾患は、狭心症や心

筋梗塞のように胸痛が現れてからでなければわからないのでしょうか。実は、胸痛が現れる前段階であっても、心電図検査などで冠動脈硬化を知ることができのです。最近の成人病検診では、検査項目として心電図検査が入っている場合が多いため、心電図の変化から自覚症状がなくても虚血性心臓病を指摘されることがあります。これが無痛性虚血性心疾患と言われるものです。

この段階で油断をしていると、病気が進行し悪化することがありますから、早いうちに専門医を訪れて、精密検査を受け治療について相談を受けるようにしましょう。

虚血性心疾患の注意点

(リスク・ファクター)

このような心臓病を発生、促進させる危険要素をリスク・ファクターといいます。これには、遺伝的体質や肥満、高血圧、高脂血症、糖尿病、喫煙、ストレスなどがあります。リスク・ファクターのチェックと管理には専門医があたりますが、なかには自分自身でもある程度コントロールできるものもあります。肥満や喫煙を避け、ストレスの解消に心がけることは、このきびしい現代社会から心臓を守るための自衛手段となります。

大国主神社の杉

並木・名園・名木 ⑧

守りたいたい。残したいたい。

○所在・大館市花岡町字繫沢556番地
○所有者・繫沢部落
○由来・特色

この神社は、繫沢集落西側の小高い丘の中腹に虚空蔵菩薩を安置していた小さなお堂を、大国主大神のご加護も併せて受けられるようにと嘉永六年(一八五三)にこの丘の上に建立。大国主神社と名付けられ、地区の人たちを見守るように鎮座しています。

同神社の老杉は、神社創建当時よりも古い、虚空蔵菩薩のお堂が建てられたころの植栽と思われます。鳥居から社殿に至る石段の両側には、八本の杉の木があります。中でも鳥居に最も近い木は、推定樹齢約四百年、樹高約三十メートル、胸高周囲約五メートルで、神木と称するにふさわしい風格を備えています。

○ひとくちメモ

この神社のご神体の一つでもある虚空蔵菩薩像は、昭和五十九年に市の有形文化財に指定されています。室町時代の上方の作といわれ、青銅製で高さ三十一・五メートルの立像で鎌倉様式。尊顔は観音様式で、両手首は後に補修されています。台座は元禄六年(一六九三)の作で、仙台あたりで作成されたものとみられます。

